

毎年恒例の三浦海岸でのフィールドワーク。数えてみたら、ぼくは2016年からこれをやっていて、年に2回やった年があったり、コロナでできなかった年もあったりしたが、**今回がちょうど10回目**の三浦海岸だったようだ（ただしそのうち最初の2回は磯採集がメインではない）。今回は**過去最高の参加者30人**。ちょっと人数が多すぎたが、多い分、探す範囲も広がり、いつも以上に色んな生き物を見つけてくれた。

今回は、3年連続このフィールドワークに参加する皆勤賞のユウリが凄かった。「**ウミウシ見つけました〜**」と始まってすぐ穏やかな声を上げたかと思うと、少し経って再び「**またいた〜**」とどんどん見つけてみんなが驚く。網に入ったの？と聞いたら、「いや、目で探すんです。ゆっくり見て回ると海藻と違うなと思うものが見えてきます」とのこと。「**毎年来てだいたいどんな場所にいるのか分かるようになった**」とも。さすが！結局、この日見られた5種類のウミウシのうち3種類はユウリが見つけた。

そして1年生のサンショウウオマスターのソウスケ（vol.183参照）は、本来は魚好き。「**昨日も1人で磯に潜ってました**」だとか。え？！体育祭翌日から**2日連続磯採集？！**タフだなー。ぼくは教員リレーで50m走っただけで翌日はグッタリしていたというのに…。ソウスケは見たことのない先の尖った網2本（素潜り用なんだとか）を両手に持ってどんどん魚を捕まえていた。ソウスケには魚とカニの名前を聞きまくり、今回も終始ぼくが教えてもらう側だった。

個人的な今回のイチオシは**カニダマシ**だ。ソウスケに教わってこんな生物がいることを初めて知った。カニっぽい**ヤドカリの仲間**で、なぜかカニ以外の生物がカニのような見た目になってしまう「**カニ化（カーニゼーション）**」という現象の代表例だそう。甲殻類の色んな系統でこのカニ化は見られる。つまり、**進化はなぜかカニを目指している（？）**かのようだ。この理由はまだよく分からないらしい。おもしろ。



カニの仲間

スベスベマンジュウガニとアオウミウシ ひょうきんな名前のカニだが、猛毒のテトロドトキシンを持つ。



カニの仲間

オウギガニとイソヘラムシ オウギガニは「甲羅が扇形」と図鑑に書かれていたが、カニってほとんどみんな扇形では…？



カニの仲間

ヒライソガニの仲間？ 今までカニの種類が分からな過ぎて避けていたが、ちゃんと調べてみるとカニも面白いかも（でもまだ種ごとの違いがよく分からない）。



カニの仲間

イワガニ これぞカニ！という感じの見た目。カニの仲間はハサミの他に、歩脚が4対8本ある。



カニの仲間

イソクズガニ 動いていなければカニだと分からない見事な擬態。からだに海藻をくっつけている。



コモンウミウシ 今回見つけた5種類のウミウシ（コモン、アオ、マダラ、ヤマト、キヌハダ）のうち、このコモンウミウシは初めて見た。



ヤドカリの仲間

※この個体は左側は脚が1本欠けている
ここに巻き付く形でもう一つ脚が隠れている（歩くためには使わない）

イソカニダマシ 三浦海岸6月1日
カニっぽいヤドカリの仲間。確かにちょっとカニとは違う。でもヤドカリっぽくもない。ハサミ以外の脚がカニと同じく4対あるのに、カニダマシは一番後ろの脚が収納されている。触角もカニダマシは糸状で長いという違いがある。横歩きだけでなく前後に歩くこともできるらしい。カニだと思ってたらそんなに注目してなかったなー。



ウミウシハンター・ユウリ

100均の網だがそんなこと関係なく、目視で確実に成果を上げていた。「そういえば今日はヒラムシ見てないね」と言ったらその後にヒラムシを見つけてくれた。すごい。



3本の網を使うソウスケ

先が尖っている白い網2本、先が横一直線の青い網1本を携帯。両手で網を持って追い込みながら採集していた。プロっぽい。